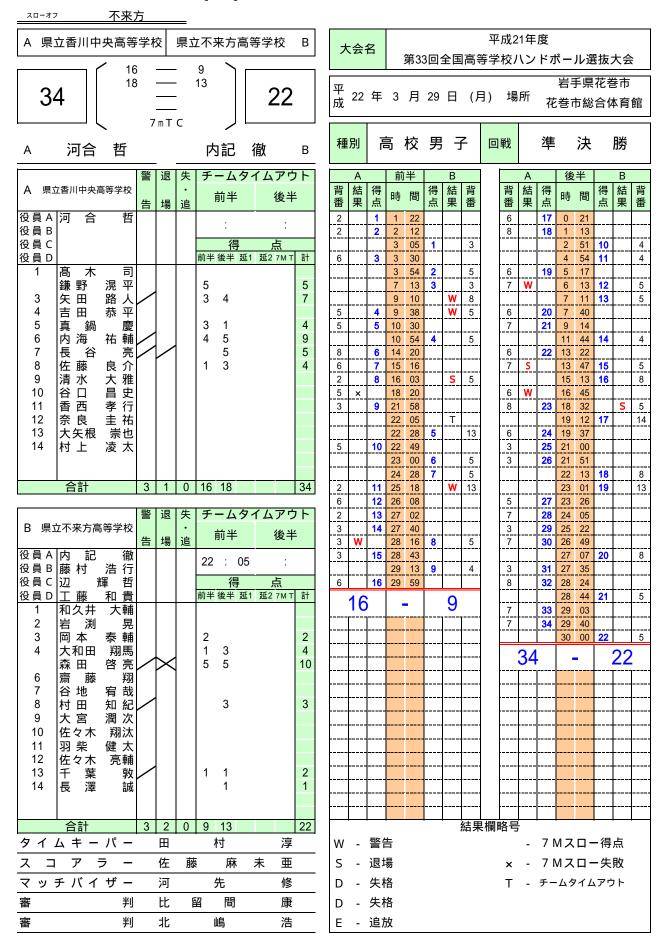
(財)日本ハンドボール協会公式記録用紙



戦 評記入者

小澤

両チーム互いに高い個人技で得点をあげ、互角の立ち上がりをみせる。中盤、香川中央が 内海のスピードに乗ったロングシュートや巧みなポストプレーで4連取し、主導権を握る。16分に不来方が退場者を出すと、 鎌野の7mTや速攻などでさらに4連取し、前半を16-9で終える。後半に入っても個人技に勝る香川中央は 矢田、 佐藤らが軽快に得点を重ねる。対する不来方も 森田、 吉田らを中心に反撃するも、最後は地力に勝る香川中央が34-22で勝利した。